

みえ現場 de 県議会

「文化振興～地域の文化・歴史を後世に伝えるために～」実施概要

- 1 日時・場所 平成29年11月24日(金)10時00分～12時00分
くわなメディアライヴ 多目的ホール

- 2 テーマ 「文化振興～地域の文化・歴史を後世に伝えるために～」

<テーマの選定理由>

近年、少子化や過疎化の影響により伝統文化の担い手が不足することや、生活様式の変化により地域における文化の独自性が失われることが危惧されています。このような中、昨年は「桑名石取祭の祭車行事」「鳥出神社の鯨船行事」「上野天神祭のダンジリ行事」が含まれる「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、文化の保存・継承・活用の機運が高まっています。

そこで、地域の文化活動及び歴史の伝承などに関わっている方々から、後継者の育成や情報発信、独自の資金調達など文化活動に取り組む上での課題や県に期待すること等に関する意見を直接お聞きし、現状や課題を把握し、今後の議会での議論に反映していきます。

- 3 参加者等

- ・地域の文化活動・歴史の伝承などに関わっている方 3人
- ・一般公募の方 3人
- ・県議会議員 14人 印は広聴広報会議委員

舟橋裕幸議長、

水谷隆副議長(広聴広報会議座長) 芳野正英議員、 中瀬古初美議員、
濱井初男議員、 後藤健一議員、○木津直樹議員、 田中祐治議員(環境生活農林水産常任委員長) 野口正議員、 山本里香議員、 倉本崇弘議員、
野村保夫議員、下野幸助議員(総務地域連携常任委員長)、藤根正典議員(教育警察常任委員長)

- ・傍聴議員 6人

田中智也議員、小島智子議員、石田成生議員、東豊議員、日沖正信議員、
山本勝議員

- ・傍聴者 6人

- 4 プログラム

- (1) 開会 挨拶(舟橋裕幸議長)
- (2) 趣旨説明
- (3) 自己紹介
- (4) 意見交換
- (5) 閉会 挨拶(水谷隆副議長)

5 主な意見等

【後継者の育成】

(現状と課題)

近年の少子化、高齢化の流れ、家庭事情や転勤族のため自治会活動や地域活動に参加しない世帯の増加などで、会員数が半減している。

会員募集をしても名前だけの会員もいる。

子どもは卒業後に、就職などで遠くに行ってしまう。

昔は世話好きな人がたくさんいたが、最近は減少気味である。

若い人は先人が長年積み上げてきた日本の伝統文化に興味がないように思う。

以前桑員地区の学校の先生に依頼して、太鼓を広める試みをしたがうまくいかなかった。

文化協会の会員が減少しており、その要因は高齢化や娯楽の多様化と考えている。文化振興には若い人の参加が不可欠であるが、文化祭でも若い人の参加が少ないのが現実である。この流れは全国の文化協会の共通認識と思っている。

(取り組み)

学校向けに出前講座を行っている。ユネスコ無形文化遺産登録後は、非常に多くの問い合わせがあり、子どもたちが鉦や太鼓を体験することで興味を持ち、後継者の育成につながっていくと考えている。

石取祭をすべての人に愛される祭りにするためにも、祭りを行っている人間のレベルを上げる必要があると考えており、酒を飲む場所をわきまえ、喧嘩は止めて、祭りの品を上げる取り組みをしてきた。保護者にとっても子どもを参加させやすい祭りとしていく必要がある。

ユネスコ無形文化遺産に登録された祭りに参加できるということは、一つのウリと考えている。

小学校での特別学習に「日永つんつくおどり」を年1回指導している。

登録制度として、会員にならなくても「歌ったり、太鼓を叩いたり、笛を吹いたり」することで、興味を持ってもらい、徐々に会員になってもらう取り組みをはじめた。

大人になって地元に戻ってきた者がチームリーダー的存在となっている。

太鼓の会員は発表会をすると増える傾向にあり、年々少しずつ増えている。

太鼓をやっている子どもたちには、礼に始まって礼に終わるということも教え込んでおり、大きな声で挨拶ができ、気配りもできるようになっていると思うので、どんどん広げていきたい。

イベントに出る時には、甲冑の着付け体験やキャラクターを使ったPRによる仕掛けで興味を引き、甲冑づくりや踊りのチームへの参加につなげる試みをしている。手作り甲冑を作ることに興味のある人は多く、作ると飾ったり展示したりするだけでなく、着用して祭りに参加し、そこで観光客に喜ばれたりして、喜んでいる人が多い。

鯨船は他の地域でもあり、応援要請にこたえて、他地域の団体と交流して祭りに参加した。

四日市大学の学生や高校の留学生も祭りに参加した。

【情報発信】

（現状と課題）

会長就任時に石取祭の全国知名度が6%と聞いた。

ポスターなどを作って掲示板に掲示しても見る人が減っており、インターネットの活用が大事と思っている。

（取り組み）

メディアを活用したPRとして、ダイードリンコがやっている「日本の祭り」に取り上げてもらった。

所属している「全国山・鉦・屋台保存連合会」の全国大会を誘致した。

ジュニアサミットの時には高校生に鉦や太鼓を叩く体験をしてもらった。

石取祭がユネスコ無形文化遺産に登録されたこともあり、海外をはじめ観光客が多くなった。

2020年が伝承400年となることから、「つたえよう 日永つんつくおどり400年祭運営委員会」を立ち上げ、県内外へ発信していく。

大きな看板を作成し、踊りに参加するときには持っていき、広報に努めている。

行事の会場でPRのチラシを配るなど、人から人への情報発信を行っている。

有名な人に絵を描いてもらって独自に津まつりのポスターを作ったところ、全国からポスターの問い合わせがあり、参加者も増えた。

ユネスコ無形文化遺産登録を記念して、四日市市教育委員会と共催で写真展示を行った。

【独自の資金調達】

（現状と課題）

祭りなど伝統文化に対する行政からの予算が、減少したり廃止になったりしている。

（取り組み）

日永つんつくおどりは、「地つき・地固め」の動作が基本であり、郷土色豊かな歌と踊りを地鎮祭等の祝歌として活用し、資金調達の一助にならないか準備している。助成金の申請やイベント出演料が入る場合もある。

衣装のレンタル代が大部分を占めていたことから、手作り甲冑をはじめ、予算を削減した。

結果的としてはうまくいかなかったが、クラウドファンディングに挑戦した。

企業に協賛金を依頼している。

（要望）

県民の日の文化施設の無料開放に協力した場合、県としての費用負担を検討してほしい。

6 会場アンケートで寄せられた主な意見、感想など（参加者、傍聴者）

【全般について】

○地域づくり、活性化も含め、伝統文化にたずさわっていただいている強い思いを感じました。

参加者の皆さんの熱意がよく伝わったと感じています。

各団体の抱えている悩みが共通であることが分かりました。前向きに取り組む必要があると思った。

補助事業の情報を聞けたので良かった。

本日は有難うございました。会議に出席させていただきよい勉強になりました。ユネスコに登録された団体におかれても、跡継ぎ問題に悩んでおられる事を知り安堵いたしました。保存会も今後継承していくためには、人の心をひきつけるころを持ちたいと感じました。

地域の祭りなど伝統文化を守っていくために、どこにおいても少子高齢化のなかで、後継者不足の課題に向き合い取り組んでおられることを改めて確認させていただいた。後継者育成について、参考とさせていただけるところもいくつかありました。参加者の皆さんの祭魂にふれることができ、感謝しています。今日、聞かせていただいた貴重なご意見を地域のお祭りの総会等を通じて自分より若い人たちに伝えたいと思います。私には二人の娘がおりますが、二人とも地域のお祭りの保存会のメンバーに育てていただきました。今年は孫もデビューしました。お祭りの保存会では、他町とのケンカや人間関係のトラブル等、何度悔しい涙を流したことか様々なことが思い出されます。それでも、私にとってお祭りの保存会は、もうひとつの家族のような大切な場所です。今後もお祭りを通じて、人として成長していきたいと思っています。お祭りの現場は、男社会だと思えるようなところが多いかもしれませんが、三重県の女性たちが、お祭りでもっともっと輝いてくださればと願っています。

桑名在住。石取り祭りは伝統もあり、世界遺産にも登録されて、ぜひ、後世にも伝える意義があると思います。地域の小学校、中学校等で地域の文化を伝承していると聞きました。もっと桑名全域の学校で、社会見学のような時間を作り、鉦を叩く体験が出来たら楽しく伝承できると思います。後継者の人材育成につながればいい。伝統文化を継承していくのは大変なことだと思っておりましたが、保存会の方の話を聞き、問題点等を聞き（酒飲んでなんだろう）改善されるべき等だと思えます。確かに、他の自治会の者は入りにくい所もあります。

【運営等について】

さらに、様々な分野・内容でお考えいただくことを希望します。

タイムスケジュールがあると良いと思います。事項書におおよその時間を明記。

時間が短くて意見交換が活発にできなかった。

オープンに意見交換ができれば良かったと思えます。

開催日時を平日夜あるいは土曜日日曜日に開催していただくと傍聴者も多くなると考えます。又、平日夜あるいは土曜日日曜日が出席しやすいです。

結果報「メモ」いただけるとありがたいです。

県議会の議員さんの文化振興等の担当者から話をもっと聞きたい。
団体の聴き取りで活発な意見交換が出来ていなかったように思う。もう少し議会からの提案などもあってよかったのではないか。